
外側で1人

ヒヨ子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

外側で1人

【Nコード】

N8476Q

【作者名】

ヒヨ子

【あらすじ】

愛がない。物が無い。私はいつも外側だ。なのに、男はいう。

私は、人間。でも、立っているところは、人間の外側。端っこ。どうしてかといえは、私は、普通の人と、全然違うから。

見た目は、変わらない。でも私は、普通の人より、何億倍も力が強い。車のドアだって普通に取れる。ガラスの灰皿だって、片手で簡単に割れる。

こんな私を、周りの人間は恐れた。動物も、近寄らなかつた。親でさえも、私を恐れて家を出て行った。だから、私には、友達も、知り合いも、親もない。誰も、私に近寄ってこない。壊されると思って、近づかない。身の回りの物たちも、私を避けているような気がした。私を受け入れてくれるのは、植物と、広い空だけ。

私は、壊した。周りの物を全部壊した。どうせ壊れてしまうなら、壊してしまえ。そう思った。

「そうすれば、いつか、周りから壊れるものは無くなる。」そう言った。

なのに、人間は新しい物をどんどん作る。私の周りからは、物が無くならなかつた。

壊しても、壊しても、こわしても、コワシテモ、物は無くならな
い。

それでも、私は壊す。形ある物を壊していく。
それが、私の日常。これが、私の当たり前。

ある日。その日常が一変した。

「君は、どうして物を壊すんだい？」

私に、男が1人、近寄ってきた。

私は、驚いた。この男は、私を知らないのだろうか。阿呆な奴だ。そう思った。

呆れて、私は、適当に答えた。

「そんなの知らないわよ」

そう。自分でも、よくわからない。どうして滅らないものを壊しているのだろう。

男は、私に言った。

「じゃあ、どうして君はいつも1人なんだい？」

この質問に、私は、溜息が出た。

皆が私を恐がる。近寄ってこない。だから、いつも1人。

「皆、私が恐くて近寄ってこない」

そう言う私の隣に、男は座った。

「どうして、君を恐がるんだろう」

私は、カチンときた。

「あんた、私のことを知らないの！？ 私は、人より力が強い！

物をどんどん壊していく！ 周りの奴らは、皆、自分が危ないと思
って逃げていく！ 私は、あんたを片手で殺せるわ！」

そう言った。

なのに。

「うん。知ってる」

男は笑うだけ。

私は、聞いた。

「なぜ、私に近寄ってくるの」

この男は、なぜ、人間とはかけ離れた力を持つ私を恐がらないの
か。

「だって、君がすごく綺麗だから」

答えに、私は驚いた。

「人は、君をしっかりと見ない。恐がって、逃げるだけ」

「オレは、知ってるよ」

「君が、ほんとうは、誰よりも優しく、誰よりも臆病なこと」
言葉に、涙が出た。

この男は、私を見ている。私のことを、誰よりも知っている。

「ほんとは人と仲良くしたくて、物だって壊したくない。1人が大

嫌い」

男が言葉を紡いでく。

そつだ。私は、1人が嫌い。物を壊したくない。

「皆、私を遠ざける。」

近寄ってこない。

「この気持ちも、この力も、」

「いつだって、いつだって私だけが外側」

「この力がなかったら、」

「皆は私を愛してくれた？」

1人だけが悲しくて。1人だけが寂しくて。いつも「ココロのど」
かで叫んでた。

「オレは、愛するよ」

「君を人間として」

男の言葉は、私を包む。

ああ、愛って、これかな

私は、1人が寂しかった。悲しかった。愛されたかった。

1人だけ外側に立ってた。孤独だった。

でも、

私はもう1人じゃない。外側にいても、1人じゃない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8476q/>

外側で1人

2011年6月9日12時35分発行